



Topics 脳神経外科よりお知らせ 脳神経外科 主任科部長 山元 一樹

脳神経外科は1人体制で診療を行い、外来及び小児疾患の定期手術を主に行ってまいりましたが、2017年10月より新たに血管内治療を専門とする木戸口慶司医師を迎え、ようやく複数人で診療を行う事が出来るようになりました。今しばらく時間が必要ですが、これまで対応困難であった血管障害の外科的治療にも対応できるように準備を進めておりますので今後ともよろしく願いいたします。

第3回 人工関節患者会が開催されました

9月30日(土)の14時00分より、加古川中央市民病院 光(きらり)ホールにて第3回目の人工関節患者会を開催しました。『人工関節に関する豆知識』と題し、当院整形外科の西山医師がわかりやすく解説し、また、『食欲の秋 どれだけ食べていいの?』と題した日常の話題を当院 志水管理栄養士が講演しました。質疑応答のコーナーでは、参加者の皆さんが講演会の内容に限らず、日々の生活の中で疑問に思われていることを積極的に講師に質問されていました。会員・非会員の方を合わせて131名の方にご参加いただき、盛況のうちに幕を閉じました。



講演会の様子



質疑応答の様子



医師の異動

新任医師			退職者		
所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
脳神経外科	科部長	木戸口 慶司	産婦人科	科部長	山田 隆
歯科口腔外科	医長	楠元 順哉	小児科	医長	谷中 好子
精神神経科	医師	牧野 祥久	精神神経科	医師	新藤 良太

加古川市民病院機構 理念

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます



放射線機器の充実と、
安心・信頼してご利用いただくために

Contents

巻頭言 放射線部門の紹介 2
 診療科紹介 3
 《特集》放射線室のご紹介 4-5
 登録医紹介 6-7
 連携室ニュース 8



巻頭言

放射線部門の紹介

院長補佐
(兼)放射線科 主任科部長
(兼)がん集学的治療センター
放射線療法部門長

は せ まもる
土 師 守



放射線部門は、中核病院においては診療部門の重要な柱の一つです。関わるスタッフは放射線技師だけでなく、多数の診療科、看護師、臨床工学技師など多職種に及びます。また放射線部門は、大きく分けると画像診断部門、IVR部門そして放射線治療部門の三部門に分かれます。

画像診断部門では、一般撮影、CT、MRI、血管造影マンモグラフィー、透視装置、骨塩定量装置等に加え、SPECTやPET-CTという核医学検査装置を備えています。核医学装置は形態による診断だけでなく、機能診断を行うことが出来ます。現在、画像診断の重要性は以前に比しさらに増しており、正確な画像診断が診療に非常に大きく寄与しています。例えば悪性疾患では、治療方針を決定するためには正確な進展範囲診断が必須であり、救急疾患においても正確で迅速な画像診断が治療に直結しています。

IVRは、外科的治療に比較すると体に負担の少ない治療であり、現在非常に多くのIVR手技が行われるようになってきました。血管病変に対するIVRでは、虚血性心疾患に対するPCIは当院でも数多く手がけていますし、不整脈に対するアブレーション治療や大動脈瘤に対するステントグラフト留置も普及してきています。また癌診療におけるIVRは広く行われています。CTガイド下生検による組織の採取、肝癌に対するTACEやRFA等の癌に対する治療や、緩和医療としてのIVRなど多岐にわたります。また救急外傷、特に出血に対する緊急IVRも重要性を増しており、当院でも対応しています。

放射線治療は、がんの治癒を目指した根治的放射線治療、術前術後の補助的な放射線治療、骨転移による痛み、脳転移による神経症状、がん組織の圧迫による症状などを和らげる目的の緩和的放射線治療などがあり、がん患者のさまざまなステージで適応することができます。近年の治療機器を中心とした放射線治療の進歩はめざましく、ピンポイント照射やIMRTと呼ばれる高精度治療が可能となり治療成績の向上、副作用の低減につながっています。当院においても、最新型放射線治療装置 (TrueBeamTM) が導入され、2016年8月から稼働しています。がん集学的治療センター放射線部門では高いレベルで安全な放射線治療を提供するため、部門内のスタッフはもとより、各診療科のスタッフとも密に連携し、よりよい放射線治療を提供するための努力をしています。

地域の先生方には放射線部門をご活用頂ければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

放射線科

放射線科では、単純X線写真、消化管透視検査、CT、MRI、マンモグラフィー、血管造影等のX線を用いた各種の検査をはじめ、核医学検査においてもSPECTに加え、癌診療に必須の検査であるPET-CTなどの多様な検査の実施と画像診断を行っています。

IVRについては、肝細胞癌や転移性肝癌に対し肝動脈塞栓療法や、ラジオ波焼灼療法などを施行しています。他にも子宮筋腫の治療として子宮動脈塞栓術や、各種の出血に対する緊急止血術、中心静脈ポート留置術、さらにCTガイド下での生検や膿瘍ドレナージなど幅広いIVRを行っています。また閉塞性動脈硬化症に対する血管形成術や大動脈に対するステントグラフト治療を循環器内科や心臓血管外科と協同しながら取り組んでいます。

放射線治療につきましては、最新型の治療装置(TrueBeamTM)を導入しました。従来から行っている画像誘導放射線治療、定位放射線治療、前立腺癌等に対する強度変調放射線治療(IMRT)の精度はさらに向上しています。また動体追跡システムも稼働を開始しており、動きのある病変部に対してもさらに高度な放射線治療が可能になりました。

今後も、地域の先生方の期待に添えるように努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



院長補佐(兼)放射線科 主任科部長
(兼)がん集学的治療センター
放射線療法部門長

は せ まもる
土 師 守



腎臓内科 主任医長
し ら い あ つ し
白 井 敦

腎臓内科は常勤医4名体制で診療を行っています。

慢性腎臓病(CKD)患者数は全国で1300万人を超えると推定されており、新たな国民病とも呼ばれています。腎機能廃絶のために全国では毎年約3.8万人の方が透析導入となり、透析患者数は30万人を超え依然として微増傾向が続いています。CKDは透析導入の大きな危険因子であり、かつ心血管疾患のリスクにもなるとされています。当科ではCKD教育入院として、腎機能増悪抑制のための内服調整や個々の患者さんに合わせた栄養・生活指導、心血管疾患のスクリーニング検査などを入院で行っています。また、糸球体腎炎に対しての経皮的腎生検とステロイド・免疫抑制剤での治療や末期腎不全に至った場合に腎代替療法(血液透析・腹膜透析)導入を行います。さらに、生体腎移植を神戸大学病院腎臓内科と連携し紹介を行っております。その他、各診療科との連携の上で各種アフターケア治療にも対応しております。

東播磨地域の拠点病院として腎疾患治療を担う上で引き続き地域の先生方と連携して診療を進めていきたいと考えており、どうか更なるご協力をお願いいたします。

腎臓内科紹介

診療支援部 副部長
(兼)放射線室 主任技師長

くりやま ゆき はる
栗山 由紀治



放射線機器の充実と、 安心・信頼してご利用いただくために――

平素より、患者さんのご紹介等につきまして、諸先生方には格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当室では、多種多様な放射線機器を取りそろえ、検査から治療まで診療放射線技師35名が対応して

います。(別表1参照)今年度のトピックスとして、MRI装置^{*1}の増設、乳房撮影^{*2}装置の更新、放射線治療^{*3}における動体追跡システムの使用開始があります。

まず、MRI装置ですが、アジアで1号機となる最新機器の導入となりました。特徴としましてワイドボア設計、サイレントスキャンの搭載、検査中に音楽や映像の視聴ができることがあげられます。これまで患者さんが感じていらっしゃいました「狭い」「うるさい」「怖い」を低減することが可能となりました。また、3台体制となりご迷惑をおかけして

いました予約待ち日数も解消されました。

乳房撮影装置は断層機能を備えたフルデジタル機器への更新となりました。この装置は被曝線量を増やすことなく、乳腺構造の重なりで発見が難しかった病変の描出を可能にしています。

放射線治療で開始された動体追跡システムは、呼吸による照射位置のずれをなくし副作用の少ない治療を可能にしました。また、スループットも向上しています。これらの機器以外も日々の点検や精度管理を万全にし、検査に対応しています。

ハード面の充実だけでなく、ソフト面でも努力しています。

当室の理念は、「敬意をもって人に接し、技術を軸として医療に貢



献する」です。この理念のもと、我々診療放射線技師は日々研鑽しています。「敬意をもって人に接し」の部分は人間中心の考え方や行動規範を表しています。高度な医療に患者さんが置き去りになることが無いよう、わかりやすい説明、丁寧な言葉遣い・所作を心がけています。後半「技術を軸として医療

に貢献する”は、診療放射線技師としての責務や存在意義です。安心という信頼を得られる医療の提供を常に心がけています。

また、各検査への対応、技術・知識の向上のため、学会・研究会への参加、発表、また資格の取得も積極的に行っています。(別表2参照)

このように物心両面から先生方、患者さんに利用しやすく、満足

していただける連携を目指しています。今後もゆきとどいた医療の提供に向けさらなる努力をして参りますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。



表1 放射線機器一覧

名称	台数
X線CT ^{*4} 装置(治療計画用含む)	4
MRI装置	3
PET-CT ^{*5} 装置	1
SPECT装置 ^{*6}	1
乳房撮影装置	1
放射線治療装置	1
放射線治療位置決め装置	2
骨密度測定装置	1
一般撮影装置	4
X線TV装置	5
血管撮影装置	3
ハイブリッド血管撮影装置	1
磁場カテーテルナビゲーションシステム	1
結石破碎装置	1
回診用X線撮影装置	7
外科用イメージ装置	2
歯科用パノラマ装置	1
歯科用撮影装置	1

表2 放射線室取得資格一覧

名称	延べ人数
X線CT認定技師	5
肺がんCT検診認定技師	1
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	6
第1種放射線取扱主任者	6
放射線治療専門放射線技師	3
放射線治療品質管理士	2
医学物理士	1
核医学専門技師	1
血管撮影インターベンション専門診療放射線技師	1
Ai認定診療放射線技師	3
「陽電子断層撮影診療に関する所定の研修」を履修済み	3
超音波検査士(消化器)	3
超音波検査士(泌尿器)	1
放射線管理士	3
放射線機器管理士	3
医療情報技師	3
臨床実習指導教員	5
エックス線作業主任者	3
γ線取扱主任者	1
ICLSインストラクター	2

※1 MRI

3台のMR装置(1.5T 2台、3T 1台)を駆使することで、地域連携病院の先生方のご要望に十分お応えできるような画像を提供すると共に、共同利用のさらなる充実を図りたいと考えています。

条件付きMR対応心臓デバイス植込み患者さんや条件付きMR対応SCS植込み患者さんの検査も受け入れています。詳しくは、当院放射線室にお尋ねください。

※2 乳房撮影

今年導入した乳房撮影装置は以前の装置に比べ、画質が向上しています。

昨今の女性の乳がん罹患率は、まだまだ増加傾向にあり、乳がんの早期発見が期待できる装置です。当院の乳腺外来は毎週火曜日で、ほかにも人間ドック、乳がん検診なども行っています。

※3 放射線治療

国内2台目となる動体追跡システム SyncTraXを導入しました。

腫瘍の近くに埋め込まれた極小マーカーをリアルタイムに追跡し、腫瘍の動きに合わせた治療を放射線治療装置「TrueBeam」と連動することで、さらなる高精度な放射線治療が可能となりました。

※4 CT

CT室は現在マルチスライスCT(MDCT)を3台稼働させており、緊急、造影様々なCT検査に対応しています。病診連携枠及び当日枠もご用意していますので御用の際はご連絡ください。尚CTCA(冠動脈CT)に関しましては一度内科診察を受けて頂き、内科依頼の検査となりますのでよろしくお願いいたします。

※5 PET-CT

当院のPET-CT検査は、PETによる「細胞の活動性」とCTによる「形態的变化」を同時に評価できます。がんの病期・転移・再発・治療効果判定診断に有用です。特に治療効果判定において、腫瘍量の形態的变化の評価には限界があることから機能評価に基づく基準が提案され、がん診療においてますます欠かせない検査となっています。

※6 RI

核医学検査は、生体内に近い物質を用いて体内の生理的情報が得られる唯一の検査です。心筋検査(負荷心筋、脂肪酸代謝:BMIPP、心筋交感神経:MIBG)は水曜日を除く毎日、その他(脳血流シンチ、骨シンチ、Gaシンチ、レノグラム等)は、水曜日に行っています。

当院と連携いただいている登録医療機関をご紹介します。



矢野内科医院

診療科 内科／循環器内科／呼吸器内科

駐車場台数 15台

所在地 高砂市米田町米田722-5

TEL. 079-432-7100



院長 矢野 隆 先生

当院は平成16年3月高砂市米田町に開院いたしました。開業前の9年間に神鋼加古川病院(加古川東市民病院の前身)に勤務しておりました。

開業までは循環器内科と呼吸器内科を中心に内科全般の診療に携わってまいりました。開業後も循環器・呼吸器疾患を中心にさらに幅広く対応しております。循環器・呼吸器疾患に関しては基本的な検査は院内で行えるように機器を揃えております。

当院の理念

- ・患者さんの訴えに耳を傾け、わかりやすく丁寧な説明をする。
- ・医療の進歩に対応し、高い有効性と安全な医療を提供する。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	—
午後 16:00~19:00	●	●	●	—	●	—	—

最新の知識を得るように心がけておりますが、専門分野以外ではなかなか難しいのも現実です。加古川中央市民病院さんは幅広い分野の専門医がおられ、最新の医療を提供していただいております。大変心強く感じています。地域の診療所の先生方との診診連携、基幹病院との病診連携を通じて地域医療に少しでも貢献できればと考えております。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。



平成泌尿器科クリニック

診療科 泌尿器科

駐車場台数 56台

所在地 加古川市平岡町新在家2丁目266-13

TEL. 079-426-3305



院長 福原 恒 先生

当院はJR東加古川駅の南側にある泌尿器科クリニックで、この度、平成29年4月より私が院長として就任いたしました。それに先立ち、クリニックの全面建て直しを行い、バリアフリー化し、エレベーターも2基用意して、車椅子やストレッチャーの患者さんにも利用しやすい建物としております。

診療では、泌尿器科全般を診ております。CT・エコー・膀胱鏡・尿沈査分析器・尿流量測定室など泌尿器科診断に必要なものは揃えており、また透視を用いて、DJカテーテルや腎瘻などの処置や尿路の造影検査も行っております。その他入院施設があり、透析や緩和ケアや腰椎麻酔以下の手術や前立腺針生検なども行っております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	△	●	●	—
午後 17:00~18:30	●	—	●	—	●	—	—

△:緊急対応可

ただ合併症の多い症例や全身麻酔下の手術が必要な症例や化学療法が必要な症例は、加古川中央市民病へ紹介させていただきます。また当院にないMRIや骨シンチなどの画像診断や泌尿器科以外の他科の先生への紹介症例も多く診て頂き、感謝の念と共に大変心強く感じています。今後とも病診連携をよろしくお願い申し上げます。



きたうらクリニック

診療科 人工透析／腎臓内科／内科

駐車場台数 9台

所在地 加古川市野口町野口220-1

TEL. 079-453-5888



院長 北浦 圭介 先生

当院は平成25年2月に開業した腎臓病と透析を専門としたクリニックとして開業しました。野口町の教信寺の前に位置し、四季折々の風情も楽しめます。

当院では健康診断での尿検査の異常や腎臓病の指標であるクレアチニンの上昇など腎臓病の有無の診断から慢性腎不全の治療まで腎臓領域で幅広い診療を行っています。また、透析が必要といわれた方には血液透析、腹膜透析、腎移植の3種類の方法について時間を割いて説明しております。血液透析については週3回

お会いするわけですから、当院を選んで頂いた患者さんに対して適切な治療とともに優しさをもって接するよう心掛けています。また、腎臓病は生活習慣病との関連も多く、内科外来では生活習慣病の診療も行っております。

加古川中央市民病院は多数の腎臓内科の先生をはじめ、色んな診療科の先生にお世話になっており、安心感をもって紹介しております。今後も良好な病診連携を保っていきたく思っております。

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
腎臓内科 内科	午前 9:30~12:00	●	●	●	●	●	●	—
	午後 15:00~17:00	●	—	●	—	●	—	—
人工透析	8:00~18:30	●	—	●	—	●	—	—
	8:00~14:30	—	●	—	●	—	●	—



まついクリニック

診療科 泌尿器科／腎臓内科

駐車場台数 6台

所在地 加古郡播磨町南野添3丁目10-11
セフレ播磨2F メディカルセンター内

TEL. 079-436-8100



院長 松井 隆 先生

高砂市民病院、神戸赤十字病院等の勤務を経て、平成28年4月に清水クリニックを継承し、山陽電車、播磨町駅前にまついクリニック 泌尿器科・腎臓内科として開業しました。市民病院泌尿器科の岡部長とは神戸大学の同級生ですが、新病院となり距離も近くなったことで今後ますます連携を深めたいと思います。

当院は泌尿器科として膀胱、前立腺、腎臓などの疾患に関する専門的な診療はもとより、駅前クリニックとしても風邪や胃腸炎、各種予防接種など一般診療まで幅広く対応しております。

丁寧な診察と分かりやすい説明をモットーに診療にあたっておりますので、お困りのことがあればお気軽に受診していただければと存じます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	—	●	●	●	—
午後 16:00~19:00	●	●	—	●	●	—	—

